

Pioneer

ドライブレコーダー

VREC-DS810DC

取扱説明書

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やけがの原因となる場合があります。この場合は、弊社では一切の責任を負いかねます。本機の取り付け、ご使用に当たっては、本機を接続する製品の「安全上のご注意」もお読みください。

販売店様へ
取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しください。
免責事項について
お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いません。

本製品は、パイオニア製ドライブレコーダーリンク HD 対応ナビ専用設計です。対応カーナビゲーションについては弊社ホームページでご確認ください。
< <https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/> >

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>
[0120]で始まる電話番号は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用下さい。(通話料がかかります) 正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただいておりますので発信者番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

カスタマーサポートセンター ※記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますのでお客様サポートサイトもご活用ください。

■お客様サポートサイト
<https://pioneer.jp/rd/support/>  ■商品についてのよくあるお問い合わせ(FAQ)
<https://pioneer.jp/rd/support/faq/> 

■電話
《カーオーディオ、カーナビゲーション商品》※受付時間はお客様サポートサイトでご確認ください
【固定電話から】0120-944-111 (無料) 【携帯電話・PHSから】050-3820-7540 (IP電話・有料)
または 0570-037-600 (ナビダイヤル・有料)
※カーナビゲーションの訪問宅電話番号検索機能に関する個人情報の削除などはこちらの窓口で承っております

■ファックス 0570-037-602 (ナビダイヤル・有料)

令和2年10月現在 記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。 VOL.10

パイオニア株式会社 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート ©パイオニア株式会社 2022 < KYT22K > < 127075007958 >

carrozzeria

安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
	注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	注意(警告を含む)しなければならない内容です。		必ず行っていただく強制の内容です。
	禁止(やってはいけないこと)の内容です。		

接続・取り付け

警告

 禁止 エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしてはいけないことの内容です。

取り付けやアース配線に、保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを使用しない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。
視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない
交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない
電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

本機は、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない
視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。

 禁止 車両メーカーが指定する禁止エリアや車両の操作を妨げる位置に、取り付けや配線をしてはいけないことの内容です。

 強制 エアバッグの動作を妨げないように、取り付け位置や角度の調整を行う
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで製品や部品が飛ばされ死亡事故の原因となります。
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

取付・取外し・配線は、専門技術者に依頼する
誤った取り付けや配線、取り外しを行うと、車に支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線はケガの原因となりますので、販売店などにご依頼ください。

説明書に従って接続・取り付ける
説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コード類はしっかりと固定する
コードを固定する付属部品または市販部品を使用してください。ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと、運転操作を妨げ事故の原因となります。また、乳幼児の首などに巻きつく危険があります。

 強制 パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認し、干渉しないように取り付ける
穴あけドリル等がパイプ類、タンク、電気配線などと干渉すると、火災、故障の原因となります。

付属の部品を使用し、固定する
付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げになり、事故やケガの原因となります。

取り付けと配線が終わったら、車の電装品が正常に動作するか確認する
正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

取り付け場所の汚れ(ごみ、ほこり、油)などを取り除き、しっかりと取り付ける
走行中に外れ、交通事故やケガの原因となります。乗車時に取り付け状態(接着やねじのゆるみなど)を点検してください。

注意

 禁止 ヒーターの吹き出し口の近くに設置しない
製品の通風口、放熱板を塞ぐ場所には設置しない
熱風が直接当たったり、放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。

本機を不安定なところに取り付け
落下などによる事故やケガ、故障の原因となります。

コード類は途中で切断しない
コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が動かなくなり、火災の原因となります。

コード類の配線は、車体の高温部・金属部・可動部に接触させない
断線やショートによる火災や感電の原因となります。

 禁止 水のかかるところや結露、ほこり、油煙の多いところに取り付けない
発煙や発火、故障の原因となります。

使用方法

警告

 禁止 画面だけを見ながらの運転はしない
必ず目視による安全確認を行いながら運転してください。距離感の違いとカメラの死角により人や物にぶつかるとおそれがあり、思わぬ事故の原因となります。

ネジなどの小物部品は乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
液体で濡らさない
発煙、発火、感電の原因となります。

分解や改造をしない
交通事故や火災、感電の原因となります。

 分解禁止

 禁止 ぶら下がったり、押したり引っ張ったりして、力を加えたりしない
ケガや車両の変形および故障の原因となります。

 禁止 画面が映らない、音が出ない、音声割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない
思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

 強制 実際の交通規制に従って走行する
ルート案内が実際の交通規制に反している場合があり、交通事故の原因となります。
ヒューズを交換するときは、規定容量(アンペア)のヒューズを使用し、専門業者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。ヒューズ交換は販売店などに依頼してください。

フロントガラスに貼り付ける機器等は、車を止めてから操作する
無理な姿勢で操作すると運転操作を誤り事故の原因となります。

注意

 禁止 本機は自動車用途以外で使用しない
発煙や発火、感電やケガの原因となります。
本機の上に重いものを乗せたり、乗ったりしない
落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない
故障や火災の原因となります。
キャッシュカードなどを本機に近づけない
磁気データが消去されることがあります。

本機をフロントガラスと車用サンシェード等の間に挟み込まない
熱がこもり、本機の変形や故障の原因となることがあります。
駐車監視機能使用時にサンシェードを使用する場合は、本機部分を切り取るなど加工を行ってください。

運転者は運転中に画像を注視しない
前方不注意となり交通事故の原因となります。

 注意 車両から乗り降りするときなどは、製品に頭部をぶつけないように注意する
ケガの原因となります。

 注意 温度の上昇に注意する
夏の炎天下、直射日光を浴びている場合など、表面が高温になるので触る場合は十分注意して触ってください。車のダッシュボード同様に高温になります。

異常時の問い合わせ

警告

 強制 万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店がサービス相談窓口にご相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

本書の見かた

表記	意味
 	取り扱いで注意していただきたいことや、本機の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて、説明しています。
メモ	操作する上でのヒントや、機能に関する補足について説明しています。
	タッチキーを表します。
[○○]	画面に表示される選択項目を表します。
→ <i>[○○○○]</i>	参照していただきたい箇所や設定項目を表します。

- この説明書のイラスト・画面例・仕様情報と実物が、一部異なる場合があります。
- 本機の仕様および外観は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書では、microSDHC/SDXC メモリーカードを、便宜上「microSD カード」と表記しています。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

この製品の保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。（お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。）

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。

連絡先については、弊社ホームページをご覧ください。

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。尚、生産終了により補修用性能部品の調達や修理後の性能保証などの事情から修理できない場合があります。あらかじめご了承ください。

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、及び脱着作業は承っておりません（保証期間内含む）。販売店、または取付店にご相談ください。

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

使用上のご注意

本機取り扱いに関するご注意

- 運転者は走行中に再生操作や設定操作などしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。**
- ドライブレコーダーの各機能は、設定・設置状況・microSD カードの状態・走行環境（路面状況など）の影響により、正しく作動しない場合があります。
- ダッシュボード上に明るい色のものを置くと、フロントガラスに反射してカメラ映像に映り込む場合があります。ダッシュボード上には明るい色のものを置かないでください。
- 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機は全ての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 本機で撮影できる範囲（→「仕様」）には限界があります。予め記録される映像で確認の上ご使用ください。
- 60℃以上の高温または-10℃以下の低温、および湿度の高い場所では本機を使用しないでください。
- 本機で撮影した映像を取り扱う際は、被写体のプライバシーなどを侵害しないよう十分にご配慮ください。また、お客様の責任でお取り扱いください。本機で撮影した映像には、車両ナンバーなどの個人情報が含まれる場合があります。
- 天候や時間帯等の周囲の状況によっては、車両前方の状況を正しく認識できない場合があります。
- LED式信号機や道路上の街灯などを撮影すると、信号機や街灯が点滅しているように撮影されたり、ちらついたりする場合があります。また、色が識別できない場合があります。これらの場合については弊社は一切の責任を負いません。
- 本機は G センサー（加速度センサー）で衝撃（加速度）を検知して事故発生前後の映像を記録しますが、全ての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 弊社では、破損したファイルや消去したファイルの復元サービスは行っておりません。
- microSD カードの保存領域は、撮影種別によって下図のように四分されます。

	連続録画ファイル保存領域
	イベント録画ファイル保存領域
	駐車監視録画ファイル保存領域
	写真ファイル保存領域

- 各ファイル保存領域の空き容量が足りなくなると、上書き保存されますのでご注意ください。残しておきたい大切なファイルがある場合は、バックアップすることをお勧めします。→「[撮影したファイルのバックアップ](#)」
- 動画ファイルはお手持ちのパソコンでも再生できます。ただし、パソコンの性能によっては、映像の再生がコマ落ちしたり止まったりすることがあります。
- レンズ部を手で触らないでください。触ってしまった場合は、柔らかい布で拭いてください。
- ドライブレコーダー本体の上に物を置かないでください。

microSD™ カードの取り扱いに関するご注意

- 本機は、以下の microSD カードに対応しています。

	microSDHC™	microSDXC™
容量	16 GB ~ 32 GB	64 GB ~ 128 GB
ファイルシステム	FAT32	exFAT
スピードクラス	Class10 以上	

全ての microSD カードの動作を保証するものではありません。

- microSD カードは本機でフォーマットしてご使用ください。また、カード内にパソコンなどで他のデータを入れずにご使用ください。
- microSD カードは定期的にフォーマットしてください（目安として月 1 回程度）。
- 万が一事故が発生した場合は、microSD カードを本機から抜いて保管してください。
- microSD カードへのアクセス中は、microSD カードを抜かないでください。ファイルやカード自体が破損する恐れがあります。本書をよくご覧になり、適切な方法で microSD カードを抜いてください。
- microSD カードは普通に使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。
- microSD カードの寿命は保証対象外となります。**
- microSD カードは消耗品です。定期的に新品への交換を推奨いたします。長期間使用すると、不良セクターの多発などにより正常に記録できなくなる場合や、microSD カードがエラーになり使用できなくなる場合があります。
- microSD カードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- お手持ちのパソコンで認識している microSD カードが、まれに本機で認識しない場合があります。この場合、microSD カードの不具合によっては、本機のフォーマット機能でフォーマットすることにより認識する場合があります→「[ドライブレコーダーの設定](#)」の「[設定できる機能](#)」→「[システム](#)」の「[SD カードフォーマット](#)」。ただし、フォーマットした場合は、microSD カードに記録された全てのファイルが消失します。フォーマットの際は、必ず microSD カードファイルのバックアップを作成してから行ってください。
- フォーマット作業による microSD カードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。また、本作業により microSD カードのファイル消失並びに、その他損害が発生した場合は、弊社として責任を負えません。お客様の判断・責任のもとでフォーマット作業は実行してください。
- 本機で記録した映像は定期的に確認してください。

付属品を確認する

本体関係



ドライブレコーダー本体
× 1



ブラケット
× 1



電源ケーブル
× 1



ナビゲーション
接続ケーブル
× 1



4 極ミニピンジャック
ケーブル
× 1



RCA 変換ケーブル
× 1



HDMI® ケーブル
× 1



コネクターカバー
× 1



ネジ
(2.5 mm × 6 mm)
× 1



タッピングネジ
(3.5 mm × 8 mm)
× 2



クランプ
× 2



microSDHC カード
(32 GB)
× 1

カメラ関係



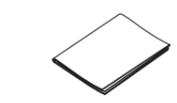
フロントカメラ*
× 1



リアカメラ
× 1



リアカメラ中継ケーブル
× 1



クリーナークロス
× 2



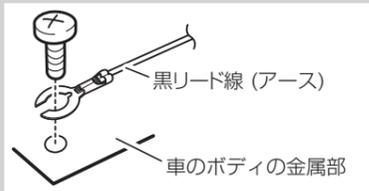
六角レンチ × 1

* 別売の偏光フィルター「AD-PLF1」を取り付けることでフロントガラスへのダッシュボードの映り込みや反射光を抑え、コントラストの高い映像が得られます。（装着時は四隅に影の映り込みなどが発生します。）

接続の前に知ってほしいこと

⚠️ 接続上のご注意

- 本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。



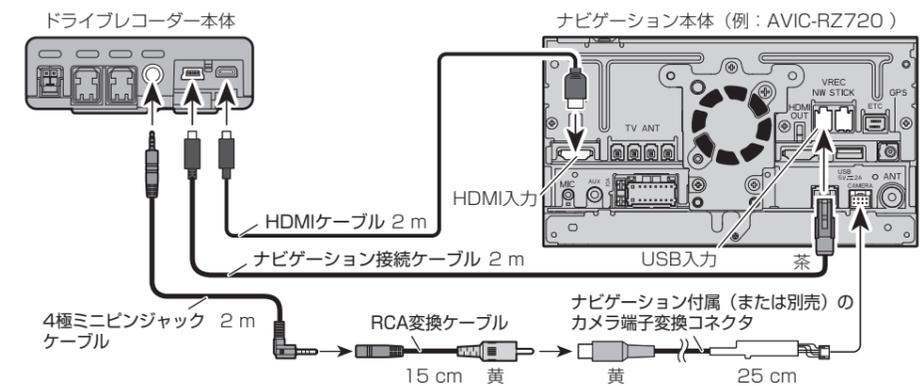
- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。
- 必ず運転に支障のでない場所に本機を取り付けてください。
- 本機は必ず 12 V 車両に取り付けてください。本機は 12 V 専用製品です。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。

接続端子の脱着のしかた

- 接続端子は奥までしっかり押し込んで、確実に接続してください。また、端子にロックが付いている場合は、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。スムーズに入らない場合は、方向が間違っている可能性がありますので、コネクタの向きを確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ケーブルを外すときは、コネクタ部分を持ってロックを押しながら引っ張ってください。コードを引っ張ると、コネクタが破損してしまうことがあります。
- ナビゲーション接続ケーブルの端子（ドライブレコーダー本体接続側）や HDMI ケーブルの端子を無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。

リアカメラをリバース連動ビューとしてお使いになる場合

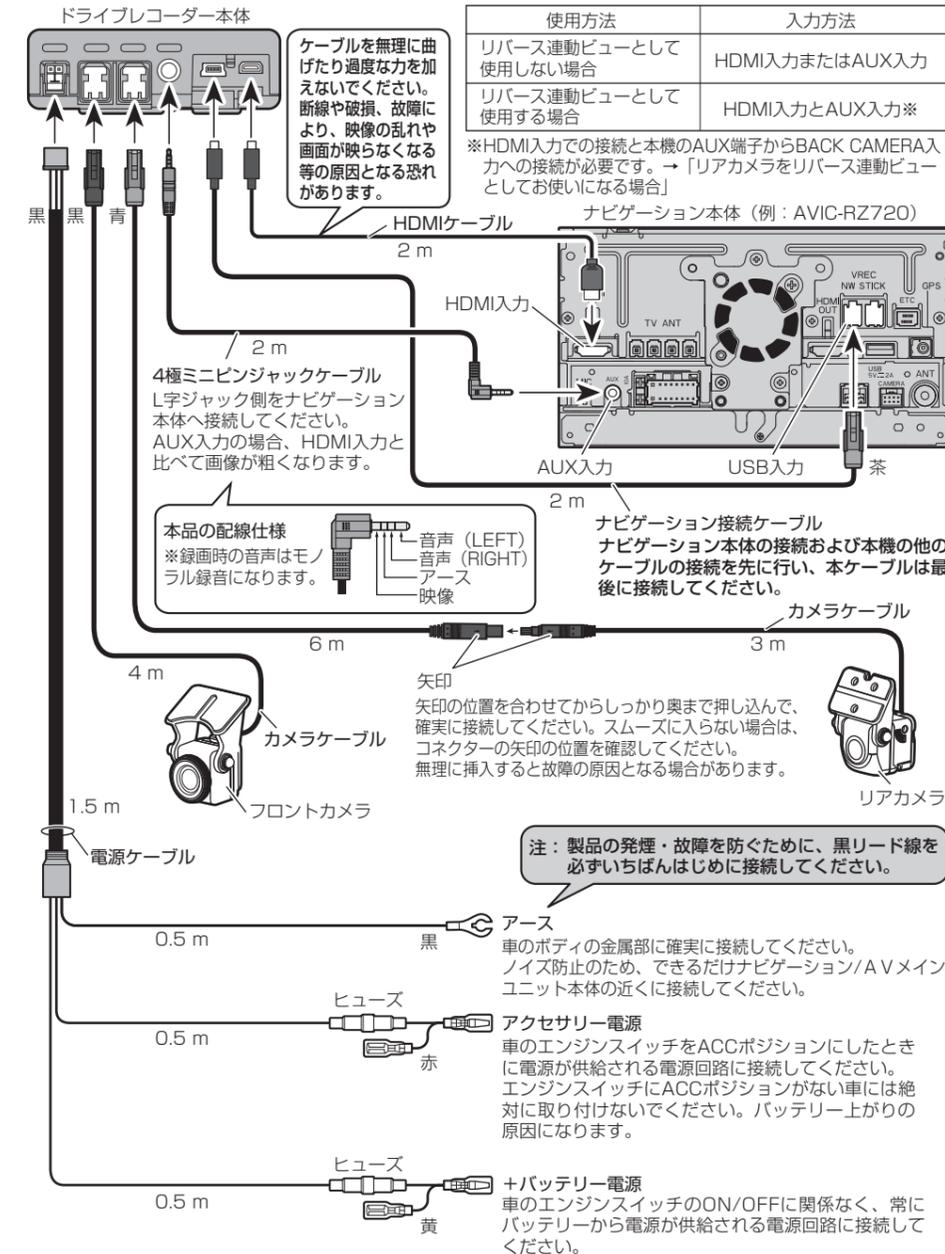
- ドライブレコーダーリンク HD 対応楽ナビに接続する場合は本機の HDMI と AUX 接続を利用してリアカメラをリバース連動ビューとしてお使いいただくこともできます。その場合、付属の RCA 変換ケーブルを 4 極ミニピンジャックケーブル（L 字ジャック側）に接続し、映像出力端子（黄）をナビゲーションのバックカメラ入力（黄）に接続してください。また、本機の「リバース連動」設定を ON にしてください。電源ケーブルやカメラの接続は「接続のしかた」をご確認ください。



接続のしかた

必ず車のバッテリーの⊖端子を外してから接続してください。

接続について詳しくは、ドライブレコーダーリンク HD 対応楽ナビの取付説明書もご確認ください。



取り付けの前に知ってほしいこと

⚠️ 警告

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグのカバー部分および作動時の妨げになるような場所には絶対に取り付けしないでください。エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機が飛ばされたりして、事故やけがの原因となります。

⚠️ 注意

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。
- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。
- 必ず車両の備品および運転に支障のでない場所に本機を取り付けてください。

⚠️ 取り付け上のご注意

- ケーブル類の配線接続時には、必ずコネクタ部を持ち、無理な力を加えないでください。ケーブル部分を無理に曲げたり力を加えると断線や破損、故障の原因となります。
- 必ず本機に付属のネジを使用して、指定どおりに取り付けしてください。本機に付属以外のネジを使用すると、破損の原因となります。
- ドライブレコーダー本体は、付属のブラケットおよびタッピングネジを使用して、しっかりと車両に固定してください。走行中に落下して、ブレーキペダルの下に入り込むと大変危険です。
- ドライブレコーダー本体の通風口を塞ぐ場所には設置しないでください。放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。
- 次のような場所には絶対に取り付けしないでください。高温により故障する恐れがあります。
 - * ダッシュボードやリアトレイの上のように、直射日光の当たる場所
 - * ヒーターの吹き出し口の近く
 - * 床面の下部に、マフラー等の高温になるものがあるところ
 - * グローブボックスなどの、密閉された場所
- ドライブレコーダー本体は、他の機器（ETC 車載器など）と近接する場所に設置しないでください。
- 雨水や飲料水などの液体がかからない場所に取り付けてください。雨が吹き込んだり、濡れた傘が本機に接触したりして雨水がかかる、もしくは飲料水をこぼすなど、本機に液体がかかると故障する恐れがあります。
- 床面など、ホコリや泥等が混入しやすい場所には取り付けしないでください。
- 緊急用具、ジャッキ、工具、車検証などの出し入れの邪魔にならない場所を選んで取り付けしてください。
- 保安基準*に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく取り付けしてください。
 - * 保安基準とは、道路運送車両の保安基準第 29 条及び細目を定める告示第 195 条をいいます。
- フロントカメラは、ガラス取り付け専用です。ガラス以外や車室外には取り付けしないでください。
- フロントカメラをフロントガラスに取り付けるときは、必ずフロントガラスの指定の位置・寸法内に取り付けてください。
- リアカメラをリアガラスに取り付けるときは、以下の点にご注意ください。
 - － 熱線がある場合は、熱線避けて取り付け。
 - － リアワイパーがある場合は、ワイパーの拭き取り範囲内に入り取り付け。
 - － ハイマウントストップランプからできるだけ離して取り付け。
- 車種によって、指定の位置や寸法内に取り付けられないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。
- ドライブレコーダー本体およびフロント／リアカメラを塞いだり、レンズを汚したりしないでください。
- レンズの近くに反射物を置かないでください。
- ドライブレコーダー本体およびフロント／リアカメラは、落としたり、レンズ部分には触れたりしないよう、取り扱いには十分ご注意ください。
- 自動車のガラスにコーティング剤または特殊加工が施されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。

- 作業場所は、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
- 気温が低いときやガラスがくもっている場合は、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチを ON にしてウィンドウを暖めておいてください。
- 配線時、各ケーブルに無理な負荷をかけて曲げることのない場所を選んで取り付けしてください。

- 両面テープは、一度貼り付けると粘着力が弱くなるため貼り直しできません。必ずドライブレコーダー本体およびフロント／リアカメラを仮留めし、ケーブルの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。
- ブラケットは再利用できません。ドライブレコーダー本体の取り付け位置を移動する場合は、新品のブラケットをご購入ください。

取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

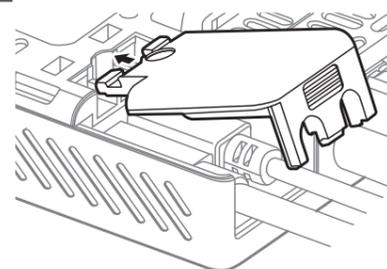
両面テープを貼り付ける前に

- 両面テープを貼り付けるところは、汚れをよく拭きとってください。

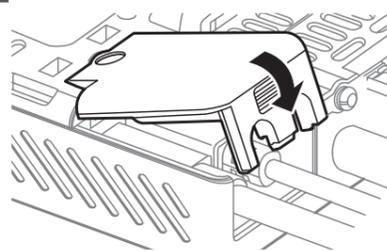
コネクタカバーの取り付け

ナビゲーション接続ケーブルおよび HDMI 接続の場合は HDMI ケーブルを接続した後、コネクタカバーを図のように取り付けてください。

1 コネクタカバーのツメをドライブレコーダー本体の溝に合わせて挿入します

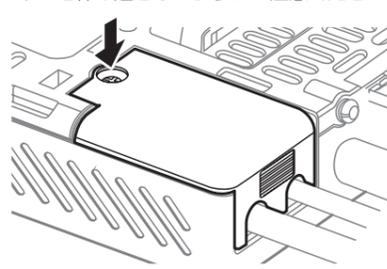


2 各ケーブルを跨ぐようにしてコネクタカバーを閉じます



3 コネクタカバーに装着されたネジを締めます

ネジを締め過ぎないようにご注意ください。



メモ

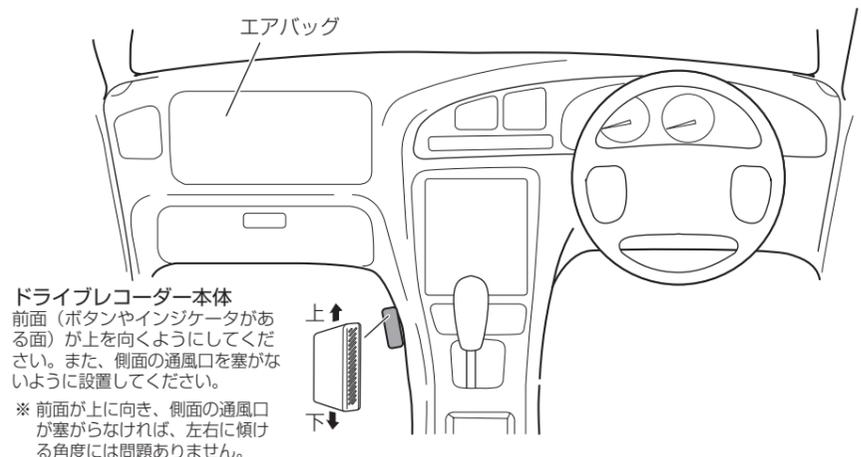
- コネクタカバーを取り外すときは、取り付けと逆の手順で取り外してください。

⚠️ 注意

- コネクタカバーが完全に外れていない状態で無理にケーブルを取り外すと、コネクタカバーのツメが破損する原因となりますのでご注意ください。

本体の取り付け

推奨取り付け例



- ドライブレコーダー本体
前面（ボタンやインジケータがある面）を上を向くようにしてください。また、側面の通風口を塞がないように設置してください。
- ※ 前面が上向き、側面の通風口が塞がらなければ、左右に傾ける角度には問題ありません。
 - ※ microSDカードの出し入れに支障がない位置に設置してください。
 - ※ ドライブレコーダー本体にはGセンサーを内蔵しています。シフトレバーなど可動操作によって振動が発生しやすい場所の近くには取り付けないでください。また、足が触れてしまう場所へも取り付けないでください。

1 付属のクリーナークロスで取り付け部分の汚れ・油などを取り除きます

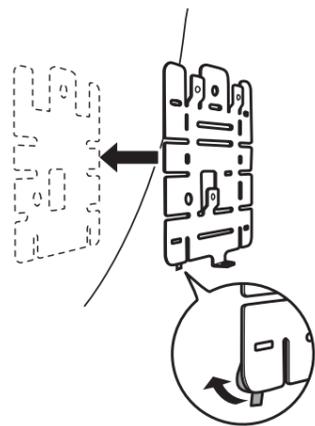
手順6でクランパーを取り付ける箇所の汚れ・油なども取り除きます。

⚠ 注意

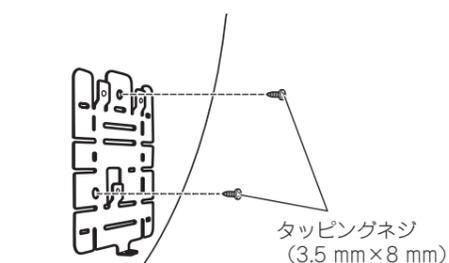
- 取り付け部分が乾いてから貼ってください。
- ブラケットの両面テープは非常に強い粘着力を持っており、一度貼り付けると貼り直しは困難なため、十分ご注意ください。
- 粘着テープの取付強度を確保するため、取付後24時間以上放置してから使用してください。
- 付属のクリーナーを開封後は、直ちに使用してください。クリーナーにはアルコール成分が含まれているため、使用せずに放置するとアルコール成分が揮発し、汚れや油分の除去が十分に行えなくなる可能性があります。

2 ブラケットを取り付けます

ブラケットのシールをはがして、運転に支障がない場所へブラケットをしっかりと取り付けます。



3 車両とブラケットをタッピングネジ（3.5 mm × 8 mm）2本で固定します

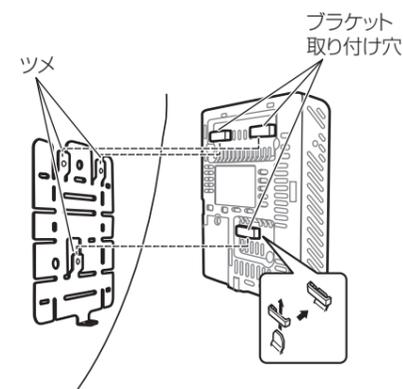


⚠ 注意

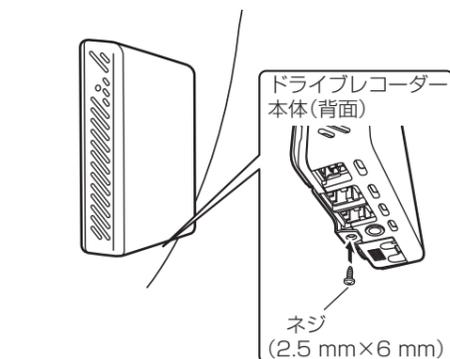
- 車両側の機能に影響を与えない場所に取り付けてください。

4 ドライブレコーダー本体を取り付けます

ドライブレコーダー本体のブラケット取り付け穴に、ブラケットのツメを差し込みます。

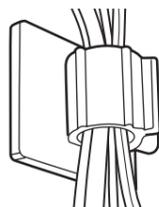


5 ドライブレコーダー本体とブラケットをネジ（2.5 mm × 6 mm）で固定します



6 ケーブルをクランパーで固定します

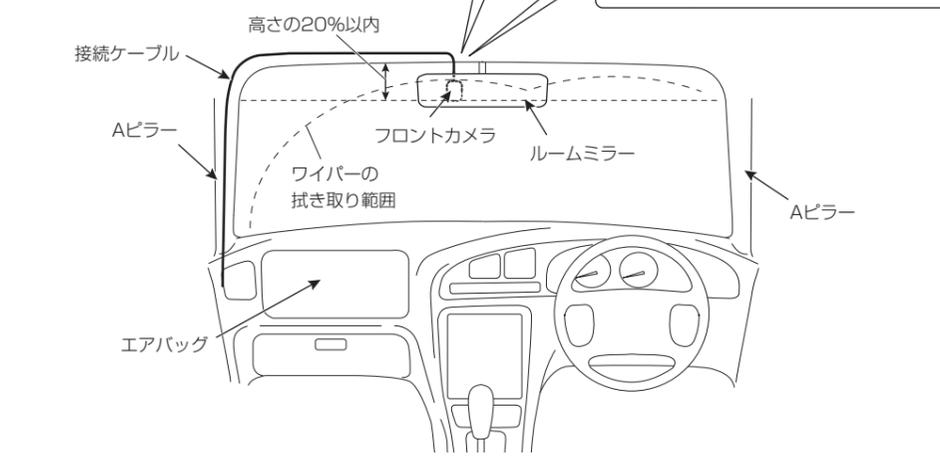
「接続のしかた」に従って接続を行い、接続ケーブルをクランパーで固定します。



カメラの取り付け

フロントガラス取り付け指定位置

- フロントカメラは、以下の条件を全て満たす位置に取り付けてください。
- フロントガラスの高さの上縁から20%以内の位置（ウエザーストリップ、モール等と重なる部分およびマスキングが施されている部分を除く実長の20%以内の範囲）あるいは、運転席から見てルームミラーの陰になる位置
 - フロントカメラのレンズ部分がワイパーの拭き取り範囲内に入る位置
 - フロントカメラのレンズ部分がサンシェードやクロセラライン・クロセラパターンにかからない位置
 - 車検ステッカーと重ならない位置
 - フロントカメラが前方および左右に対して水平方向を向く位置
 - フロントカメラのケーブルが無理なく引き回せる位置
 - 取り付け後にフロントカメラの側面にある六角ネジが回せる位置（六角ネジを緩め、上下の角度を調整するため）

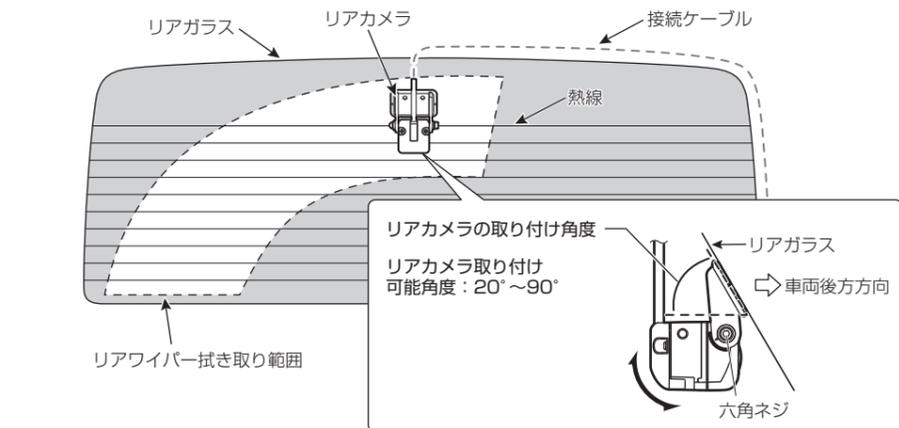


⚠ 必ずお守りください

- 運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず「フロントガラス取り付け指定位置」に取り付けてください。指定位置以外に取り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となります。

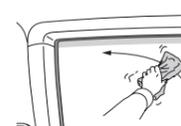
リアガラス取り付け推奨位置

- リアカメラは、以下の条件を全て満たす位置への取り付けを推奨します。
- リアカメラのレンズ部分がワイパーの拭き取り範囲内に入る位置
 - リアカメラが後方および左右に対して水平方向を向く位置
 - リアカメラのレンズ部分および両面テープが熱線と重ならない位置
 - リアカメラのケーブルが無理なく引き回せる位置
 - 取り付け後にリアカメラの側面にある六角ネジが回せる位置（六角ネジを緩め、上下の角度を調整するため）

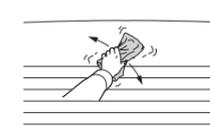


1 クリーナークロスで取り付け部分の汚れ・油などを取り除きます

■ フロントガラス



■ リアガラス

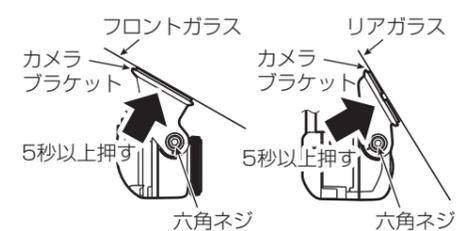


⚠ 注意

- ガラスの表面が乾いてから貼ってください。
- カメラブラケットの両面テープは非常に強い粘着力を持っており、一度貼り付けると貼り直しは困難なため、十分ご注意ください。
- 粘着テープの取付強度を確保するため、取付後24時間以上放置してから使用してください。
- 付属のクリーナーを開封後は、直ちに使用してください。クリーナーにはアルコール成分が含まれているため、使用せずに放置するとアルコール成分が揮発し、汚れや油分の除去が十分に行えなくなる可能性があります。

2 カメラを取り付けます

- ① 両面テープはくり紙をはがします。
- ② フロントガラスまたはリアガラスの指定位置に取り付けます。両面テープとガラスの間に気泡が入らないよう、カメラブラケットを指で5秒以上しっかりと押し付けて、確実に取り付けください。
- ③ 側面の六角ネジを緩め、カメラが水平方向になるよう上下の角度を調整して六角ネジを締めます。



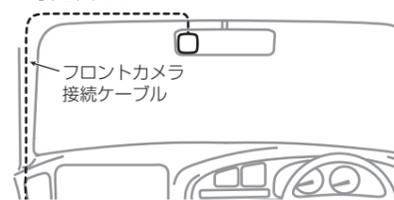
カメラの取り付け

はがれないようにしっかり取り付ける

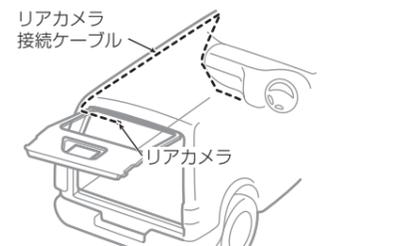
正しく取り付けられていないと、走行中にはがれて事故の原因になります。ときどき点検してください。

3 カメラ接続ケーブルを 図のように引き回します

フロントカメラ接続ケーブルは助手席側に引き回します。



リアカメラ接続ケーブルの引き回し例です。



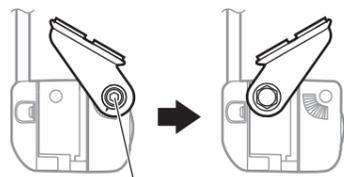
4 各ケーブルをドライブ レコーダー本体に接続します

→「接続のしかた」
→「コネクタカバーの取り付け」

5 車のエンジンをかけて撮影画面 を表示します

車外へ取り付ける場合

リアカメラを車外へ取り付ける場合は、カメラブラケットの向きを変えます。



六角ネジを外して、カメラブラケットの向きを反対にしたら再度固定します。

また、以下の注意事項をよくご確認ください。

⚠ 注意

- 本製品のカメラを指定通り正しく取り付けないと「道路運送車両の保安基準」に適合しない場合があります。
※ 道路運送車両の保安基準第 18 条及び細目を定める告示第 178 条をいいます。
- リアカメラは地上高 70 cm 以上の位置に取り付けてください。
- 図を参考に、カメラブラケットやカメラ後部が車両に隠れるようにリアガーニッシュの下面に取り付けてください。

取付には奥行50 mm横幅45 mm以上の貼付スペースが必要です。



カメラが車体からはみ出してしまう場合は、取り付けないでください。

- ナンバープレートのナンバーがカメラで隠れないように注意してください。



- 取り付け後にカメラの側面にある六角ネジが回せる位置に取り付けてください。(六角ネジを緩め、上下の角度を調整するため)

- カメラの角度を調整できるか確認してください。



- 取り付け部の奥行きが狭い場合、図のようにケーブルカバーを取り外す事ができます。

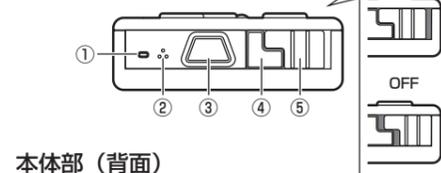


ネジ 2 本を外します。
外したネジは紛失しないよう、大切に保管してください。また、誤って乳幼児が飲み込んだりしないよう、保管場所にも配慮してください。

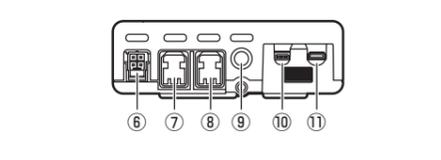
- カメラ本体は、車幅に対してなるべく中央付近に取り付けてください。(左右に大きくずれて取り付けると、カメラの映像と実際の見え方のずれが大きくなります。)
- 自動洗車機、または高圧力の水で洗車は行わないでください。カメラ内に水が入ったり、カメラが落下したりする恐れがあります。
- カメラレンズ表面や本体が凍結した場合にライターなどで加熱しないでください。故障の原因となります。
- リアガラスの外側へは取り付けないでください。
- 雨や霧の中では取り付け作業を行わないでください。
- カメラをフッ素樹脂加工処理された車体やワックスの付いた場所に取り付けしないでください。カメラが落下する恐れがあります。
- カメラを貼り付け直さないでください。
- カメラに無理な力を加えないでください。
- 取り付け後、24 時間以内は次のことを守ってください。
 - － 水をかけない。
 - － 雨に濡らさない。
- ケーブルを伝って雨水などが車内に侵入しないよう、防水処理を行ってください。
- 走行時、カメラに直接風が当たる場所には取り付けないでください。
- 角度調整ネジが緩んでいないか定期的に点検してください。

各部の名称

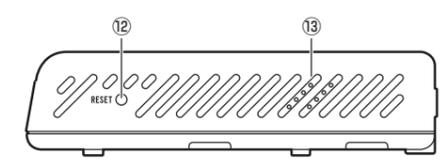
本体部 (前面)



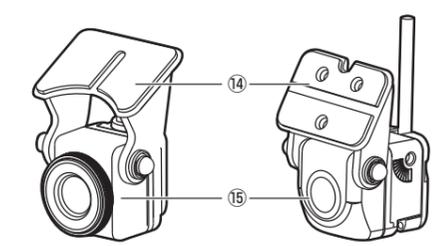
本体部 (背面)



本体部 (側面)



フロントカメラ部



リアカメラ部

本体部 (前面)

- ① システムインジケータ
本機の状態を LED で表現します。
- ② マイク
周囲の音声を集音します。
- ③ REC ボタン (LED インジケータ)
手動撮影を行います。また、状態を LED で表現します。
- ④ microSD カードスロットカバー
microSD カードを抜き挿しするときに開きます。カバーを開くと microSD カードスロットがあります。
- ⑤ システムスイッチ
ドライブレコーダーのシステムを ON/OFF します。OFF 状態では録画・再生を停止します。

本体部 (背面)

- ⑥ 電源接続端子
付属の電源ケーブルを接続します。
- ⑦ フロントカメラ接続端子
付属のフロントカメラユニットを接続します。
- ⑧ リアカメラ接続端子
付属のリアカメラユニットを接続します。
- ⑨ AUX 接続端子
付属の映像 / 音声出力ミニプラグを接続します。(AUX 接続する場合)
- ⑩ ドライブレコーダーリンク用 USB 接続端子
付属のナビゲーション接続ケーブルを接続します。
- ⑪ HDMI 接続端子
付属の HDMI ケーブルを接続します。(HDMI 接続する場合)

本体部 (側面)

- ⑫ リセットボタン
先の細いもので押しすと、本機をリセットします。
- ⑬ スピーカー
本機の状態を音で表現します。

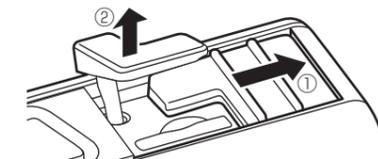
カメラ部 (フロント / リア)

- ⑭ カメラブラケット
シールをはがしてガラスに貼り付けます。
- ⑮ カメラユニット
映像を撮影します。

microSD カードの入れかた・取り出しかた

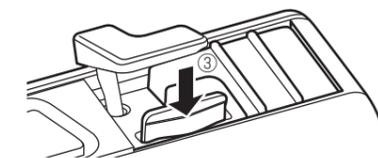
microSD カードを挿入する

- 1 システムスイッチを図の方向 (OFF) ヘスライドし、microSD カードスロットカバーを開けます



- 2 “カチッ”と音がするまで microSD カードを差し込みます

端子面を奥 (印字面を手前) にしてゆっくりとまっすぐ挿入します。

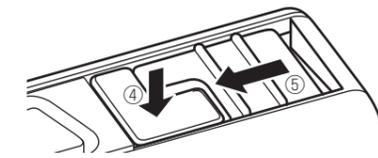


⚠ 注意

- microSD カードを斜めに挿入しないでください。破損の原因になります。

- 3 microSD カードスロットカバーを閉じてシステムスイッチを図の方向 (ON) ヘスライドします

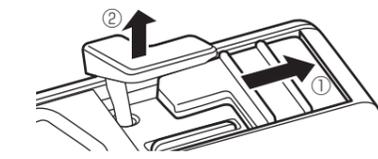
ON 側ヘスライドしないと、録画・再生ができません。
microSD カードスロットカバーを、ドライブレコーダー本体の溝に確実に押し込んでください。



microSD カードを取り出す

- 1 システムスイッチを図の方向 (OFF) ヘスライドし、microSD カードスロットカバーを開けます

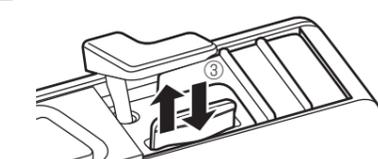
インジケータが消灯することを確認してください。



⚠ 注意

- インジケータが消灯する前に取り出すと、microSD カード内のファイルやカード自体を破損することがあります。

- 2 “カチッ”と音がするまで microSD カードを押し込んで離し、microSD カードを取り出します

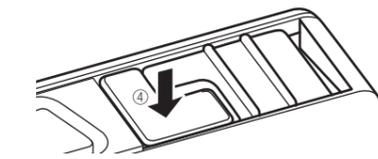


⚠ 注意

- microSD カードは書き込み後は熱を有しているため、取扱には注意してください。

- 3 microSD カードスロットカバーを閉じます

microSD カードスロットカバーを、ドライブレコーダー本体の溝に確実に押し込んでください。



ドライブレコーダーの使いかた

必ず安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。

本機の電源について

本機は、車のエンジンをオン（ACC ON）にすると起動*し、自動的に録画を開始します。（連続録画機能）
本機の撮影／再生／設定画面は、本機を接続した「ドライブレコーダーリンク（HD）」対応ナビ（2022年発売）のHDMIソースまたはAUX（外部入力）ソースとして表示します。接続設定や撮影画面の表示方法などは、ナビゲーションの取扱説明書をご覧ください。

*システムスイッチがOFFの状態では、録画・再生、設定メニューの操作ができません。

LED表示について

本機の動作状態をシステムインジケータおよびRECボタンのLEDで表します。

システムインジケータ	連続録画中	イベント録画中	エラー時 (microSDカード未挿入を含む)	システムスイッチ OFF／設定メニュー 操作中／再生操作中
緑点灯	○	—	—	—
緑点滅	—	—	—	—
赤点灯	—	○	—	—
赤点滅	—	—	○	—
消灯	—	—	—	○

RECボタン	電源オン時	駐車監視録画中
赤点灯	○	—
赤点滅	—	○*

*ドライブレコーダーの設定により、点滅させないようにすることもできます。

→「ドライブレコーダーの設定」の「設定できる機能」－「駐車監視」－「LEDインジケータ」

基本的な画面の見かた

撮影中画面に表示される各種アイコンの見かたを説明します。



撮影中表示
本機が撮影状態のときに表示します。

録画経過時間表示
設定した録画時間の経過を表示します。

解像度表示
現在設定中の解像度（動画・静止画）を表示します。
→「ドライブレコーダーの設定」

マイク表示
マイクのON/OFF状態を表示します。
→「ドライブレコーダーの設定」

カメラ表示
現在選択されているカメラがフロントまたはリアどちらであるか表示します。
→「フロントとリアの映像を切り換える」

フロントとリアの映像を切り換える

フロントとリアの映像を切り換えることができます。

画面右上の をタッチし、 にタッチします。タッチすることにより、以下の順に映像が切りかわります。
リア→P in P (P side P) →フロント→リアに戻る

連続録画機能について

本機が起動すると自動的に録画を開始します。録画した映像は設定時間単位（工場出荷時は1分間）で1ファイルとしてmicroSDカードに保存され、microSDカードの容量が無くなると、古いファイルから上書きされます。

メモ

- 連続録画時間は変更することができます。
→「ドライブレコーダーの設定」の「設定できる機能」－「連続録画」－「録画ファイル時間」
- 下記の場合に連続録画を停止します。
 - － 撮影画面以外を表示している場合
 - － 電源供給が停止された場合
 - － 駐車監視機能が起動した場合
 - － システムスイッチがOFFの場合
- 録画時間は状況によって変更になる場合があります。

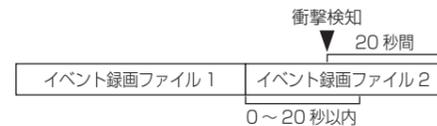
イベント録画機能について

■ 衝撃を検知して自動で撮影（イベント録画）

他の車との接触事故が発生した場合など、本機（フロントカメラ）が衝撃を検知した時の連続録画ファイルは、イベント録画ファイルとして「Event」フォルダーに記録されます。イベント録画開始時は「ビピッ」という音が鳴ります。衝撃を検知した時点により、イベント録画ファイルの数や録画時間が異なります。

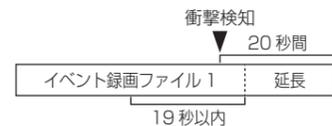
● ファイル序盤で検知した場合

連続録画ファイルの録画開始から20秒以内に衝撃を検知した時は、検知した時のひとつ前のファイルと衝撃検知後20秒間の2つのファイルがイベント録画ファイルとして記録されます。



● ファイルの終盤で検知した場合

連続録画ファイルの録画終了前の19秒間に衝撃を検知した時は、衝撃検知後20秒間が延長された1つのファイルがイベント録画ファイルとして記録されます。録画延長期間中に衝撃が続いた場合は、最大20秒間のファイルを2回まで追加できます。



● 上記の序盤、終盤以外の時点で検知した場合

衝撃を検知した時点から20秒間の動画と、直前までに撮影された連続録画ファイルが1つのイベント録画ファイルとして記録されます。

■ 手動で撮影（手動イベント録画）

連続録画中にRECボタンを押すか、接続先の画面に表示される にタッチするとイベント録画と同じ仕様でイベント録画ファイルを記録します。手動イベント録画開始時は「ビピッ」という音が鳴ります。

メモ

- 撮影画面以外を表示中にRECボタンを押す、または衝撃が検知された場合は、静止画とその時点から20秒間の動画のみが保存されます。
- イベント撮影開始時は、同時に静止画も記録されます。
- イベント撮影中にRECボタンを押す、または衝撃が検知されると、再度静止画が記録され、その時点から動画が最大20秒間延長して追加されます。
- 1つの動画ファイルで延長記録できるのは最大3回までです。4回目からは無効となります。
- イベント録画機能は、OFFにすることもできます。また、衝撃を検知する感度も調節できます。
→「ドライブレコーダーの設定」の「設定できる機能」－「連続録画」－「衝撃検知感度（イベント）」
- 録画時間は状況によって変更になる場合があります。

駐車監視機能（セキュリティモード）について

駐車監視機能をON（レベル設定を行う）にすると、車のエンジンをオフ（ACC OFF）にした後、設定したメッセージ停止時間が経過するとセキュリティモードが作動します。セキュリティモード作動中に振動による車の動きを本機が検知すると録画を開始し、駐車監視ファイルとして保存します。また、次回起動時にお知らせメッセージが表示されます。録画される時間は、1分＋延長最大20秒/回で、最大3回までを1ファイルとして保存します。

メモ

- 駐車監視機能は以下の設定ができます。
 - － ON（振動検知感度のレベル設定）/OFF
 - － 降車時、乗車時のメッセージ停止時間
 - － 動作時間
 - － 監視するバッテリー電圧の値
 - － LEDインジケータの点灯/消灯→「ドライブレコーダーの設定」の「設定できる機能」－「駐車監視」
- 衝撃を検知してから録画が開始されるまで数秒間かかります。
- 駐車監視機能は、低消費電力モードで動作するためバッテリー上がりの心配を軽減することができます。また、設定により定めたバッテリーの電圧値を監視し、その値を下回った場合は駐車監視機能を停止します。
- 駐車監視機能は、衝撃を検知してドライブレコーダー本体を起動し動作させるため、機械式の立体駐車場や振動の多い場所では起動回数が多くなり、バッテリーの減りが早まる可能性があります。そのような場所に駐車する際には設定をOFFにしてご使用ください。
- 録画時間は状況によって変更になる場合があります。
- 車両バッテリー上がりについて、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

撮影したファイルを再生する

撮影した動画ファイルの再生や写真ファイルの表示ができます。再生画面表示中に衝撃を検知した場合は、検知した時点からイベント録画を開始します。

⚠ 注意

- 再生画面表示中は、連続録画機能が停止しますのでご注意ください。

1 画面右上の にタッチします

2 再生メニュー にタッチします



3 再生したいファイルが含まれているカテゴリーにタッチします



サムネール表示に切りかわります。

ドライブレコーダーの使いかた

必ず安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。

4 再生したいファイルにタッチします



5 ▶/|| にタッチします



選んだファイルが再生されます。
例) 動画ファイル選択時

再生経過時間



撮影年月日時刻、緯度経度、時速

📷 をタッチすることにより、フロント⇄リアを切り換えます。

メモ

- ▶/|| にタッチすることにより、一時停止と再生を切り換えます。
- 📷 にタッチすると、フルスクリーン表示に切り換わります。もう一度タッチすると元の画面に戻ります。

- 動画ファイル再生中に ◀◀ / ▶▶ にタッチすると、早送りまたは早戻しを行います。◀◀ / ▶▶ にタッチすることにより、早送り/早戻しの速度が 2 倍速→4 倍速→8 倍速に変わります。
- 再生画面では、ナビゲーションから取得した撮影年月日時刻、緯度経度、時速の情報が確認できます。
- 実際の色味と異なって表示されたり、はっきりと映像が確認できなかったりした場合は、お手持ちのパソコンでファイルを再生してください。

撮影したファイルを消去する

■ ファイルを再生中に消去する

1 前項手順 4 で消去したいファイルにタッチします



2 ▶/|| にタッチします



選んだファイルが再生されます。

3 再生中に📷をタッチします



4 [実行] にタッチします



再生中のファイルが消去されます。

■ ファイルを選択して消去する

1 前項手順 4 で消去したいファイルのページを表示させて📷にタッチします



2 ページ削除または 1 ファイル削除 にタッチします。

1 ページ削除
表示されているページのファイルを全て削除します。



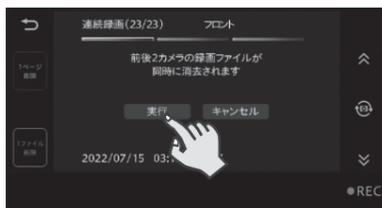
1 ファイル削除
ファイルを選択して削除します。

メモ

- 1 ファイル削除を選択した場合は、削除するファイルを選んでタッチしてください。

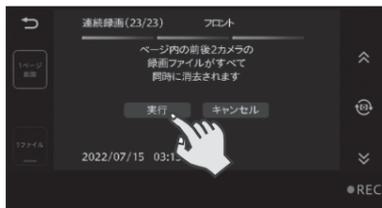
3 [実行] にタッチします

1 ファイル削除選択時



選択したファイルが消去されます。

1 ページ削除選択時



現在表示されているページ内のファイルがすべて消去されます。

ドライブレコーダーの設定

必ず安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。

本機に関する設定が行えます。また、設定内容を工場出荷時の状態に戻すことができます。この他、microSD カードのフォーマットや本機のバージョン情報を確認することもできます。ドライブレコーダー設定や撮影画面の表示方法は、本機を接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

⚠️ 注意

- メニュー画面表示中は、連続録画機能が停止しますのでご注意ください。

1 画面右上の☰にタッチします

2 設定メニュー にタッチします



3 設定したい項目の分類にタッチします

例) 露出補正 (フロント) を設定する場合



メモ

- 設定できる機能については設定項目一覧をご確認ください。
→「ドライブレコーダーの設定」の「設定できる機能」

4 設定したい項目にタッチします



5 ◀または▶にタッチして設定値を選び、確定 にタッチします



設定が完了し、前画面に戻ります。

設定できる機能

設定分類	設定項目	設定内容	工場出荷時の設定値
連続録画	録画ファイル時間	連続録画機能の 1 ファイルあたりの録画時間を設定できます。	1 分
	画質	動画撮影時の画質を設定できます。	高画質：1920 × 1080p
	WDR (Wide Dynamic Range)	明暗の差が大きい状況などで、自動で調整を行う機能の設定ができます。	ON
	露出補正 (フロント)	動画撮影時のフロントカメラの露出を設定できます。	0
	露出補正 (リア)	動画撮影時のリアカメラの露出を設定できます。*1	+ 0.3
駐車監視	衝撃検知感度 (イベント)	イベント録画時の振動や衝撃を検知する感度を設定できます。OFF に設定することもできます。	レベル 4
	リアカメラ撮影表示	リアカメラの映像を水平、上下、または水平 + 上下方向に反転して表示できます。	左右反転
	衝撃検知感度 (セキュリティ)	セキュリティモード時の振動や衝撃を検知する感度を設定できます。OFF に設定することもできます。	レベル 4
	通知音 / メッセージ停止時間：降車時	車のエンジンオフ (ACC OFF) から降車時の一定時間内 (設定時間) に発生した衝撃検知のメッセージを停止する設定ができます。	3 分後
	通知音 / メッセージ停止時間：乗車時	車のエンジンオン (ACC ON) から一定時間前 (設定時間) に発生した衝撃検知のメッセージを停止する設定ができます。	3 分前
システム	動作時間	駐車監視機能の動作時間を設定できます。	常時 ON
	電圧監視	駐車監視機能動作時に必要な電圧を設定できます。バッテリー電圧が、設定電圧より低い値になった場合、駐車監視録画を停止します。*2	11.8V
	LED インジケータ	駐車監視 (セキュリティモード) の録画中に、LED インジケータを点灯させる / させないを設定できます。	ON
	リバース連動	ON に設定すると、シフトレバーをリバースの位置にしたとき、連動してリアカメラの映像を表示します。	OFF
	マイク	動画撮影中に本機周辺の音声も記録する / しなないを設定できます。	ON
システム	システム音量	操作音の設定ができます。	大
	初期化 :SD カード領域	SD カード領域を変更できます。設定を変更すると、microSD カードのフォーマットが行われるためご注意ください。	59% 10% 30% 1%
	初期化 :SD カードフォーマット	microSD カード内のすべてのファイルを削除できます。*3	—
	初期化 :工場出荷に戻す	設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。	—
バージョン	本機のファームウェアのバージョン情報を確認できます。	—	

*1 リアガラスの色が濃いとトンネル内や夜間の映像はより暗くなる場合があるため、明るめに調整する必要があります。

*2 「現在の電圧」は目安となり、誤差が生じます。

*3 microSD カードに何らかの問題がある場合、警告音と共に「SD カードエラー」等の警告が表示され、録画が停止します。

撮影したファイルのバックアップ

各ファイル保存領域の空き容量が少ない場合は古いファイルから削除されます。残しておきたい大切なファイルがある場合は、次の方法でバックアップすることをお勧めします。

- メモ
- 事前に予備の microSD カードを用意してください。

1 microSD カードを差し換えます

安全な場所に停車し、本機のシステムスイッチを必ずオフしてから microSD カードを取り出して、予備の microSD カードと差し換えてください。

2 パソコンにファイルをコピーまたは移動します

必要に応じて同梱の SD カードアダプターを使用し、microSD カードをパソコンへ挿入します。バックアップしたい録画または写真ファイルをパソコン内の適切な場所へコピーまたは移動してください。

商標・著作権など

- microSDHC、microSDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。



- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

録画時間および枚数の目安

下表は、「SD カード領域」の設定に応じた各動画の録画時間と写真枚数の目安であり、ご使用の microSD カードや被写体、撮影条件等により変動します。「SD カード領域」の設定は以下のように表しています。例：[79% 10% 10% 1%]
メモリーカード容量に対し、連続録画時間が 79%、イベント録画時間が 10%、駐車監視録画時間が 10%、写真枚数が 1% となります。

SD カード領域	解像度	連続録画	イベント録画	駐車監視録画	写真枚数
[59% 10% 30% 1%]	1080p	約 1 時間 47 分	約 19 分	約 55 分	約 400 枚
	720p	約 2 時間 51 分	約 30 分	約 1 時間 29 分	約 400 枚
[79% 10% 10% 1%]	1080p	約 2 時間 24 分	約 19 分	約 18 分	約 400 枚
	720p	約 3 時間 54 分	約 30 分	約 19 分	約 400 枚

SD カード領域	解像度	連続録画	イベント録画	駐車監視録画	写真枚数
[59% 10% 30% 1%]	1080p	約 7 時間 19 分	約 1 時間 14 分	約 3 時間 42 分	約 400 枚
	720p	約 11 時間 38 分	約 1 時間 59 分	約 5 時間 58 分	約 400 枚
[79% 10% 10% 1%]	1080p	約 9 時間 46 分	約 1 時間 14 分	約 1 時間 14 分	約 400 枚
	720p	約 15 時間 37 分	約 1 時間 59 分	約 1 時間 59 分	約 400 枚

- メモ
- 録画時間は目安です。録画する風景等で異なります。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、下記内容をご確認ください。

症状	原因	対処
本機の動作がおかしくなった。	本機のマイコンが誤動作を起こしている。	リセットボタンを押してください。
記録されているはずのファイルが見当たらない。	microSD カード内の保存領域が足りなくなった場合、ファイルは古いものから順に上書き保存されています。	残しておきたい大切なファイルがある場合は、バックアップすることをお勧めします。 →「 撮影したファイルのバックアップ 」
駐車中に録画されたファイルに、異常のない映像が多い。	振動検知の感度が適切では無い可能性があります。	検知するセンサーの感度を調整してください。 →「 ドライブレコーダーの設定 」の「 設定できる機能 」-「 駐車監視 」-「 衝撃検知感度（セキュリティ） 」
駐車中に車をぶつけられたのに動画ファイルが作られていない。	振動検知の感度が適切では無い可能性があります。	検知するセンサーの感度を調整してください。 →「 ドライブレコーダーの設定 」の「 設定できる機能 」-「 連続録画 」-「 衝撃検知感度（イベント） 」
運転中に事故にあったが動画ファイルが作られていない。	振動検知の感度が適切では無い可能性があります。	検知するセンサーの感度を調整してください。 →「 ドライブレコーダーの設定 」の「 設定できる機能 」-「 連続録画 」-「 衝撃検知感度（イベント） 」
動画ファイルを再生しても、音声が鳴らない。	音声録音の設定が OFF の可能性があります。	音声記録の設定を再確認してください。 →「 ドライブレコーダーの設定 」の「 設定できる機能 」-「 システム 」-「 マイク 」
リアカメラ映像のまま操作ができなくなった。	ナビゲーションとの通信に問題が発生した可能性があります。	ナビゲーションのトップメニュー画面から「AV OFF」を選択した後、AV メニュー画面から「ドライブレコーダー」を選択してください。

メッセージと対処方法

本機を接続した機器にメッセージが表示されたときは、下記内容をご確認ください。

画面で表示されるメッセージ

メッセージ	原因	対処
システムスイッチが OFF のため録画・再生を停止しています	システムスイッチが OFF の状態になっています。	システムスイッチを ON にしてください。 →「 microSD カードの入れかた・取り出しかた 」
SD カードがありません	microSD カードが挿入されていません。	microSD カードを挿入してください。 →「 microSD カードの入れかた・取り出しかた 」
SD カードを交換してください	何らかの理由により、本機が microSD カードを認識できていない可能性があります。	新しい microSD カードに交換してください。 →「 microSD カードの入れかた・取り出しかた 」
SD カードの容量が足りません	microSD カードの容量が足りません。	空き容量のある microSD カードに交換してください。 →「 microSD カードの入れかた・取り出しかた 」
ドライブレコーダー本体の G センサーが異常です	ドライブレコーダーの G センサー異常が発生しています。	カスタマーサポートセンターへご相談ください。
フロントカメラの G センサーが異常です	フロントカメラの G センサー異常が発生しています。	カスタマーサポートセンターへご相談ください。
フロントカメラがドライブレコーダー本体から外れています	フロントカメラが接続されていません。	接続状態を再確認してください。 →「 接続のしかた 」
リアカメラがドライブレコーダー本体から外れています	リアカメラが接続されていません。	接続状態を再確認してください。 →「 接続のしかた 」
フロントカメラが異常です	フロントカメラに異常が発生しています。	カスタマーサポートセンターへご相談ください。
リアカメラが異常です	リアカメラに異常が発生しています。	カスタマーサポートセンターへご相談ください。
車両バッテリーの低電圧を検知したためセキュリティモード（録画）を終了しました	車両バッテリーの低電圧を検知し、録画停止しました。	バッテリー残量をご確認ください。
SD カードをフォーマットしてください	microSD カードのフォーマットが必要な状態です。	microSD カードをフォーマットしてください。 →「 ドライブレコーダーの設定 」
書き込み保証回数に達しました SD カードの交換を推奨します	microSD カードが寿命に達した状態です。	新しい microSD カードに交換してください。 →「 microSD カードの入れかた・取り出しかた 」

仕様

型番	VREC-DS810DC
記録媒体	microSDHC/microSDXC カード Class10 以上 (16 GB ~ 128 GB)
撮像素子	約 200 万画素 (車載用高感度 CMOS センサー)
記録画角	水平 125° 垂直 67° 対角 148°
F 値	F2.0
録画モード	1 920 × 1 080 P / 1 280 × 720 P
画像補正技術	WDR 機能
G センサー	3 軸 G センサー 2 基搭載 (6 段階 + OFF のレベル調整が可能) (走行時はフロントカメラ、駐車監視時は本体に搭載の G センサーを使用)
記録方式	連続録画 / イベント録画 / 手動イベント録画 / 駐車監視録画
録画ファイル構成	1 分 / 3 分
音声録音	ON/OFF 可能
映像出力	HDMI : 720 p AUX : NTSC 1 Vp-p
フレームレート	センサー部 27.5 fps / 録画・再生 30 fps
画像圧縮方式	動画 MP4 (H.264)、写真 JPG (1 920 × 1 080 / 1 280 × 720)
記録映像再生方式	パソコン用ビューアソフト「Driving Viewer」 [®] など
電源電圧	DC 14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V) (専用電源ケーブル付属)
電源ケーブル	電源 ギボシ端子形状
消費電流	0.36 A (セキュリティモード待機時：約 3 mA)
動作温度	-10℃ ~ +60℃
保証期間	お買い上げ日より 1 年
その他	動作確認用 microSDHC カード (32 GB) 同梱
本体外形寸法 (取付部除く)	76 mm × 100 mm × 27 mm (幅 × 高さ × 奥行 ブラケットを含む)
カメラ部外形寸法	フロントカメラ：26 mm × 28.5 mm × 35 mm (幅 × 高さ × 奥行) リアカメラ：26 mm × 28.5 mm × 37.5 mm (幅 × 高さ × 奥行)
本体質量	150 g (本体)
カメラ部質量	130 g (フロントカメラ、ブラケット、ケーブル含む) 105 g (リアカメラ、ブラケット、ケーブル含む)
カメラ取付推奨角度	フロントカメラ：20° ~ 80° リアカメラ：20° ~ 90°、0° ~ 50°

※ 弊社ホームページよりダウンロードが必要です。(Windows 専用)
< <https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/> >